

昨日この会場で、新約聖書の1番最後の書簡『ヨハネの黙示録』(これからシリーズで1章から22章まで見ていくのですが)、その第1回目をやりました。そこに、集会に来たのが2回目という男性がおられました。年齢がそんなに離れていないからだと思いますが、話すのが2回目なのに、昔からの友人のような、どことなく懐かしい感じで意気投合。

「YouTube全部見ました。聖書の世界は全然知らなかったけど、前々からこれを言いたかったという事を代弁された気がします。私はクリスチャンの話を聞く前から、この世界を造った神様がいると信じていたんです。」

そんなお話の中で「実は、大変な事があったんですよ。」飼っている犬が、おばあさんの腕をガブッと噛んで15センチ以上の裂傷。秋田犬の血が入っている大型犬。「救急車で運ばれて、私も行きました。」なぜその犬が噛んだかという、彼の家は大きなお家で、おばあさんはピンポン鳴らしても誰も出て来なかったの、戸を開けて勝手に入って行ったんです。庭を歩いて母屋があり、その玄関が少し開いていたので開けて、そのままズカズカと入って。その玄関の所に犬を繋いでいて、ガブッと噛んだと。でも番犬というのは、不法侵入者を追い払うために飼っているの、この犬がした事は「ようやった!」。それで、飼い主の彼には手落ちはなく、責任を問われる事はない。だけど「痛い! わーわー!」となったので、病院に付き添って行きました。

彼は保険に入っていて、色々付帯事項が付いている。それは、飼い犬が人を噛んだら、噛まれた人の医療費を保証するという保険です。保険はありがたいですね。このおばあさん、大変だから保険で出してもらいたいと思って、保険会社の人に言うと、契約者が過失を犯した時には保証するけど、過失がない時には保証をつけにくい。

「こんな失敗をしてしまった。ダメになってしまった」には、だからこそその保険でカバーしてくれる。ですが、契約者は悪くなくて、おばあさんが一方的に悪い。その場合、責任はおばあさん自身が問われるべきで、契約者に保障を出せるか分からない。

彼は、おばあさんが悪くてもかわいそうで、病院も付き添った。友人たちは「そんな事する必要ない」と言うけど、やっぱりかわいそう。「そうでしょう?」と言われて、「そうかあ? そのおばあさん、悪いやん。」私はその人柄に触れた時、人間としてこの人に負けたと思いました。

「イエス様が私にそう語って下さっているように思えて。何で自分がそんな風になっちゃったのか、よく分からないんですけど。」そう言われるのを聞いて、私は随分前にイエス様に語ってもらっているのに冷たい男やなど。

「すごいな」と思うと同時に、この保険会社の対応の中に、深い真理が秘められているとも思ったんです。つまり、保険は過失のある人に助けを与える。全く悪くない人を助ける事はできない。自分に過失があった・罪があった・間違いがあった。そして、自分ではそれを乗り越える事ができない。ので、その時こそ、保険が力を貸してカバーしてくれる。

聖書の福音は、自分で自分を救う力がないと思っている人に対して、いかに力発揮し、私たちに永遠の命を、罪の赦しを与えてくれるものです。ですが、「私は罪人かも分からないけど、神に赦してもらわなければならないほどではない。」「確かに色々失敗するけど、神様に助けてもらうほど惨めではない。」

「自分の事は自分でやります。自分の罪は自分の力で償って何とか乗り越えて行きます。」

この態度の人の中には、福音は入って行きません。

「私は自力救済の可能性はゼロ。神様の前で惨めで、哀れで、無力です。」

そのように完全無条件降伏した人に、キリストの福音はズバツと入って来るのです。

今日はそれを語っている箇所から一緒に考えたいと思います。

**テトス 3:3-6** 私たちも以前は、愚かで、不従順で、迷っていた者であり、いろいろな欲望と快樂の奴隷になり、悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者でした。

しかし、私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れたとき、神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみによって、聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちを救ってくださいました。

神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。

あまり開けられないところですが、とても大事な事が書いてあります。

今クリスチャンと言われる人たちも、キリストを信じる前の生活・人生はどうだったかという、私たちも以前は、愚かで、不従順で、迷っていた者。この3つは、対神関係における罪です。

聖書は関係の本。「神に対する関係。自分と自分との関係。対人関係」。この3つ。

一番根本は、私を成り立たせて下さっている神と私の対神関係です。

①神に対して愚か；これはIQが低いとか、学歴がないという意味ではありません。

聖書には「神に対して愚か」という事の定義があります。

**詩篇 14:1** 愚か者は心の中で「神はいない」と言う。

つまり「神なんかいないよ!」と神を否定する人生観で生きる事を「愚か者の生き方」と言うんです。

IQが高くても、自分の造り主の事を忘れていたら「神の前にそれは愚かなのだ。」

ここで言う神は神々ではない。人をお造りになった方です。

檀ふみ(だん ふみ/1954-)さん。壇一雄(だん かずお/1912-1976)の娘で女優さん。昔、甥っ子の中学生が英語ができなかったので、彼女が家庭教師を引き受けました。ある時クイズで「エレガントって、どう言う意味?」「エレガント…? 難しい…。」「ヒント。今キミの前にいる私を見てごらん。私の事を日本語で上手に表現したらどうなる?」「エレガント、ふみ姉ちゃん…分かった! 象や。」「そら、エレファントやん。」エレガントとエレファント。似てるけど違う。エレガントは品がいいって事。皆様のような。一字違いで大違い。「人が作った神も、人を造った神も、一緒や!」一緒ではありません!

人が作った神々は、人を助ける事はできない。人を・あなたをお造りになった神、あなたを生かしておられる方が、あなたを助ける事ができるのです。赤ちゃんを助けるお母さんのように、神は私たちを助ける事ができる魂の親。「神なんかいない!」これは愚か。

②神に対して不従順；「神がいたとしても、勝手にやらせてもらいます。関係ありません。私は私でやらせてもらいます」という態度。従順の反対。神様との関係を切る事。

③神に対して迷っていた者；迷子って、どんな状態の事を言いますか?「迷子の迷子の子猫ちゃん♪」という歌がありますね。迷子は、自分がどこから出て来たか分からず、今どこにいるのか分からず、これからどこに向かって行くのか分からない状態の事。

「私、家から歩いて集会に来て、また歩いて家に帰るわ」と、そんな体の事を言っているんじゃない。あなたの存在・魂はどこから出て来ましたか？ あなたをお造りになったルーツはどなたでしょう？ 自分の造り主が分からず、なので人生の意味が分からず、そして、死んだらどこに行くのかという行き先が分からない状態の人が迷っている者。

私は、その意味では迷ってません。答えを持っています。私は創造主によって造られ、神の栄光を現すためにこの地上に生かされ、死んだら天国に帰ります。だから迷ってません。

しかし、神がない・ルーツがないというのは迷ったという事。だから、神が分からないという状態は罪なんです。神様から離れている事を、聖書は罪と言っているのです。

今 YouTube で見れるのですが、昔「アンビリバボー」という番組がありました。信じられない！ けれど実際にあった事。アンビリバボー。あんなの見てたら2時間・3時間すぐ過ぎます。YouTube、恐ろしいですよ。「こんな事に時間使ってしまった！」と思いますが、参考になる事が多いので時々見ます。

リネイ・ポイリマーさんというアメリカのクリスチャン男性。彼は電気技師で、作業中に誤って高圧電線に触れてしまい、数メートル吹き飛ばされてしまいました。そのショックで両目を完全失明。

「神様、どうしてこんな事が起こったのでしょうか？ 私、納得いきません。」でも、神様には何か意味があるんだろう。神を信じる事をやめない。彼はその状態でできる事を探し、理学療法士の資格を取ります。

病院に勤務して、ちょうど10年目の2000年5月23日、仕事にもものすごく気分が悪くなりました。頭が割れるように痛んで、そのまま気を失って倒れ、気がついたら、とても明るい部屋に寝ている。

「あ、天国や。天国は明るい世界と聞いてたけど、実に明るいな」と見回していたら「あっ、気がつきました？」とナースが来る。なんと、視力が完全に回復しているんです。「見えてる！」

自分が勤務している病院で倒れたので、そのまま応急処置をしてもらって安静にしているだけ。目の手術も何もしていないのに、頭が割れるように痛くなって、それが回復した時、完全に見えるようになっていた。それが嬉しくて嬉しくて、アンビリバボー。

彼が言ったのは、「ハレルヤ！ 神様、感謝します！ 神様は素晴らしい！ 生きておられる！」

医師も色々検査するけど「分からない。奇跡だ。なので医学的には参考にならない。」だから番組になった。失明する前は見える事を「神様、感謝します！」と喜んでいませんでした。当たり前だと思っていた。歩ける事・聞こえる事・座れる事、当たり前。

でも、当たり前と思っている能力を取り上げられて、10年後に戻された時、「何と恵まれて、良いものをたくさんもらっているのか。神は私を造っただけではなく、日々生かして下さっている方なのか。そのために必要な能力を備えて下さっているのか。」嬉しい事・感謝する事がいっぱい。

創造主から離れて「神は要りません」という人生観は、ある誤解に基づいているのです。

生かされているという事を忘れている。私たちが造り・生かし・日々支えている方、いわば命の恩人に対して、感謝や畏敬の念を持つ事は、人間として自然な、あるべき態度ではないかと思います。

それを捨てて「いない。関係ない。知りません」。これは、神に対する罪です。

**テトス 3:3** いろいろな欲望と快楽の奴隷になり、悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者でした。

いろいろな欲望と快樂の奴隷になり：これは自分の事。対自分・対自関係において、欲望に対する抵抗を、自分の自由にする事が許されているという考え。

悪意とねたみのうちに生活し、人から憎まれ、互いに憎み合う者：これは対人関係の罪。対人関係のもつれは、対自分との関係におけるセルフイメージが非常に影響しているのですが、もっとさかのぼって行くと、対神関係・創造主を忘れていた事が根本的原因です。

神を忘れていた人間を、神はどう思っているのでしょうか？

**テトス 3:4** しかし、私たちの救い主である神のいつくしみと人に対する愛が現れた

「創造主は不要!」と思っている人間に対して、神が持っている態度は慈しみと愛だと書いてあります。

神のいつくしみと人に対する愛：神は「何とか回復させたい。生きてて良かったというところに至らせたい。罪の問題を解決して永遠のいのちを与えたい。そして、わたしとの交わりを回復させたい。永遠の滅びから救いたい」と願って下さったのです。

**テトス 3:5** 神は、私たちが行った義のわざによってではなく、ご自分のあわれみによって、聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちを救って下さいました。

神は、罪と死の問題を解決するために行った事を説明する前に、人が救われるのは“何によらない”のかという事をまず押さえています。

私たちが行った義のわざによってではなく：義のわざとは、一般的に言われる修行・奉仕活動・ボランティア・献金・断食…。とにかく自らを戒めて、真面目に頑張って、そうする事で罪を赦してもらおう。神に認めてもらおう。一般の宗教がこれをよく強調します。「救われるためにお布施下さい。献金持って来なさい。」カルト宗教は、必ずそれをしますから気をつけて下さいね。

実は自分が罪人だと分かって来ると、これに乗ってしまう人が多いんです。この世のルールに通じている部分があるから。価値あるものをもらうためには、しんどい思いをしなければならないというルール。良いものを得るためには、苦勞して・努力して・犠牲を払わなければならない。犠牲を払った人だけが、良いものをもらう事ができるという価値観。

旅行に行きたい。そのために毎日の贅沢を我慢してやめる。新車買いたい。そのために残業を増やす。新しいマンション購入したい。そのために共働きする。一生懸命汗水垂らして働いて、犠牲を払って。その対価として、交換条件として、良いものをもらう。タダで受けるというのは甘い考えで、世の中で通用しない。それがこの世のルールなので、「救われたいのなら献金持って来なさい」という義のわざに頼らせるのは、人間の生まれ持った性質にすごく訴えるメッセージなんです。しかし神は、「私たちが行った義のわざでは救われない」と語っています。救われない理由は4つ。

①真面目に頑張って、良い生活をして、過去を清める事はできない。

ここのすぐ近くに交番があって、天王寺や新大阪に家内に車で送ってもらう時、必ずその前を通ります。その時、家内はスピードがゆっくりになるんです。そーっと行く。「そんなにゆっくりせんでもええやろ。」「いや、念には念を」とか言うて。交番があると、皆紳士淑女になります。

交番の前には掲示板があって、今日の交通事故死とか色々書いてありますね。その隣に何が貼ってありますか？ 全国指名手配犯の顔写真。未だに捕まってない全国指名手配犯は、今10人以上いますよ。

指名手配しているのに、なぜ中々見つからないと思いますか？ 隠れている人たちは別人になりすまして、品行方正な生活を送っているからです。

元オウム真理教の信者で菊池直子(きくち なおこ)という人を知っていますか？「走る爆弾娘」。実は私の大学の後輩です。同じ学科。面識はありません。彼女は地下鉄サリン事件の時に姿をくらまして17年間潜伏生活。自分が渡した材料がサリンに関係する物だと知らなかったんですが、指名手配になって、17年間別人になりすました。

整骨院に勤めていたのですが、めちゃくちゃ真面目。「あなたみたいに腰が低くて、柔らかくて、一生懸命やってくれる人いないから、正式に採用したい」と言われても、「結構です。私、これでいいんです」とものすごく品行方正なバイト生活をしていました。

お父さんは大学教授。彼女は倍率10倍以上の教育大学付属中学。賢くて陸上部。いつも3000m走の学年トップ。元々真面目な人ですよ。でも、陸上を頑張りすぎて膝を壊した。その時、ヨガのストレッチで治ると思って、ヨガに行って、オウムに引っかかってしまったんです。

潜伏の17年間、また今も捕まっていない人で、別人として真面目にやっている人は、今真面目でも、以前に犯した罪が帳消しにされますか？「これから心入れ替えて、神を喜ばせる生活を一生懸命やっていきます！」でも、そうする前に犯した罪は、これからする事によって消えますか？この世の法的なルールでも、それは消えないですよ。

どうして、お布施や修行・これからの頑張り・一生懸命の生活で、今までの罪が消されるんですか？  
義のわざによって、過去の罪を消す事はできません！

## ②テトス 3:5 ご自分のあわれみによって、・・・私たちを救ってくださいました。

赦しというのは憐みです。先程の保険の話と同じで、「自分では出来ない」と罪を悲しむ罪人を、神は憐れまずにはおれない。罪人がしなければならぬけど自分で出来ない。それを神が代わりに背負って下さった。それがキリストの十字架です。

だけど、「いや、憐み要りません。私、自分で償えますから」と言う。償えると言う人は、自分の罪の深さに対する認識が浅いのです。だから償えると思える。罪人だというのは良心が痛む事に基づくのですが、良心にはすごく個人差があります。キセルやっても全然平気な人もいます。

三浦綾子(みうら あやこ/1922-1999/T11-H11)さんの本に、彼女の同僚の話が出て来ます。通勤定期は通勤のための定期。だから、休日にそれを使って遊びに行く事をしない。通勤定期を使って、日曜日に梅田に行くのはアカン！ここにいる人は、そんなん思った事もないでしょ。良心はとて個人差がある。自分では「こんなのは罪ではない」と思っている事も、神の基準に照らし合わせると罪だという事がたくさんあるのです。

あなたのお子さんが、誰かに殺されてしまったとします。とても嫌なたとえですけど。犯人が「すみませんでした！これ、償いの気持ちです！」と500円玉渡したら、どんな気持ちになりますか？怒りの火に油を注ぐ事になりませんか？「あなたは自分がした罪が分かっていない！」「私たちに与えた衝撃がどれほど凄まじいか分かっていない！」「罪深さのピントが全くボケている！」

良い行いによって、全部の罪を帳消しにしてもらえると考えるのは、罪に対する認識の甘さから来てい

ます。それは、殺人を犯して 500 円玉で赦してもらおうようなものです。自分ではどんなに精一杯であったとしても足りません。

### ③テトス 3:5 聖霊による再生と刷新の洗いをもって、私たちが救ってくださいました。

少し難しい言葉ですが。聖霊は神の霊。聖霊を頂いて、初めて理想的な生き方をする力を得ます。聖霊が与えられたら、自動的に、いつもその生き方ができるのではなく、与えられた聖霊に自らが協力して行く時に可能になります。中々そうしない時がある。いずれにしても、聖霊が与えられて、初めて命も人生も再生するのです。

まだキリストを受け入れてなくて、聖霊が与えられていない人を、聖書では「霊的な死人」と言います。肉体は生きているけど、キリストを受け入れてない人は、聖書によると霊的な死人です。死人は活動する事ができません。

私たちは良い事をしたから命をもらったのでしょうか？違います。全くの受け身でした。生まれる前に「女で生まれるで。」「日本人として生まれるで。」「生まれるんやったら昭和、いや大正、平成、いや令和」とか決めて生まれる人いない。生まれるというのが、もう受け身。命を授けられた。

良いお手本があっても、神の命を頂かない限り、人にはその生き方をする能力はないと聖書は言います。聖書の中に理想的な生き方を見つけて、初めはできそうに思っても長続きしません。私たちは生まれる必要があります。いつ生まれるのかというと、イエス・キリストを信じて聖霊が与えられた時に、人は新しく生まれるのです。死んだ状態の人は何もできません。命をもらわなければならないのです。「死んだ状態の人が良い行いをして、それは死んだ行いだ」と聖書は語っているのです。

### ④テトス 3:6 神はこの聖霊を、私たちの救い主イエス・キリストによって、私たちに豊かに注いでくださったのです。

この聖霊を：イエス・キリストこそが私の罪のために死んで下さり、葬られて、3 日目に復活した神。人になられた神。この方を自分の主人として「キリストが私の救い主です」と信じ受け入れる時に、聖霊が与えられます。

イエス・キリストによって：イエス・キリストが完成して下さった救いによって、私たちは救われます。だから、完成しているにも拘らず、自分の義の行いをプラスするのはダメなんです。

この集会所にはハンドメイドの調度品が至る所にあります。さりげなく。例えばこの講壇。前には 3 本ライン。きれいにアールになっている。ここには凄い腕利きの家具大工職人の方がいるんです。こだわりの逸品。階段の手すりの端、1 階に柱の竜頭のようなものがあって、さりげなく彫刻が施されています。それは十字架とメノラーをあしらった東住吉キリスト集会のロゴマーク。彫刻と言っても、彫っただけじゃなく、彫った所に、違う種類の木目の木をはめ込んである。誰も気がつかない。

そういうのがあちらに少し。こちらに少し。なぜ知っているかという、そのクリスチャン職人さんが作る時に、ちょっとだけ手伝ったから。手伝ったというのも言い過ぎるくらいの手伝い。

「あれ持って来て。」「はい。」「そっち持って。」「はい」という程度。製作そのものにはタッチしていないけど、何の変哲もなかった木材が、素晴らしい家具や講壇に姿を変えていくのを見ているだけで楽しい。「すごいなあ。」カンナかけたのを触らしてもらったら絹のよう。更に、その上にニス塗りする。「塗っていいですか?」「おやめ下さい。」「ムラになると汚い。」「ちょっとだったら、いいですか?」「おやめ下さい。」

そうやって完璧に仕上げられた完成品を見た時、私が「ここ、もう少し削った方がいいかも。カンナかけていいですか?」と言ったらどうしますか?「絶対にやめて下さい!」ですよ。

完璧な完成品に何かを付け加えると不完全品になる。付け加えによって、完璧な作品が台無しになる。

今天王寺の美術館にフェルメール来てるでしょ。フェルメール6枚。あんなに揃うのは、もうないですよ。100年に1回あるかないか。『手紙を書く女』。深く考えながら、心を筆に注いでいるような表情の女性の顔に、私がナマズ髭1本、ヒュッて描いたら犯罪やで。

「キリストの犠牲によって、いかなる人の罪も全部赦される」という、キリストが十字架で「完了した」と言われた完了のわざだけではダメ。プラスお布施・奉仕・義のわざ。これは、フェルメールの完成品の上に落書きするようなもの。無傷の講壇にカンナをかけるようなもの。なので、義のわざはダメなんです。旧約聖書に「あなたがたの義のわざ・正しさは、汚れた下着のようだ。」すなわち「自分はどんなに精一杯でも、神様の聖い基準に照らし合わせたら、とてもじゃないけど受け入れられないものだ。」

ではどうしたらいいのか、方法は1つ。

**テトス 3:7** それは、私たちがキリストの恵みによって義と認められ、永遠のいのちの望みを抱く相続人となるためでした。

自分の義の行いによってではなく、キリストの恵みによって義と認められる。

**ローマ書**では、信仰によって義と認められる。どちらも同じ事です。

信仰とは行いではなく、キリストの恵みをタダで受け取るという態度。

私が付け加えるべきものは何もない。神がして下さった事を、ただ「ありがとうございます」と言って受け取る。「受け取る」というのは行いではありません。ただ「ありがとうございます」と言って受け取る。これが、聖書が語る救いの方法です。

日本の文化圏の中で「行い! 行い!」と言うのを聞いて来ましたが、これこそ人から出た宗教の典型です。しかし、聖書は宗教ではなく福音。神から出たメッセージ。

「神が自分のために全てをして下さった」という事が分かったので、今度は神に応答したいという愛の働きが出て来る。これは救いを得るためではなく、救いを得た結果として、喜んでするのです。

**テトス 3:8** このことばは真実です。私は、あなたがこれらのことを、確信をもって語るように願っています。神を信じるようになった人々が、良いわざに励むことを心がけるようになるためです。

神を信じるようになった後で良いわざに励むというのは、喜びと感謝の反映なんですね。

「それをしなければ滅びる」と脅かされて、恐怖が原動力になる義のわざとは別です。

「こんな罪人だった時に愛して下さった方と、共に人生を歩むのは、何という幸いだらう。」

キリストと共に冒険の人生を送って行く。その違いをよくお考えになった上で、まず命を頂く事、イエス・キリストを受け入れる事を、心からお勧めしたいと思います。

\* 動画は YouTube で「HCA 東住吉キリスト集会」検索。ぜひ見て下さい。

\* ラジオ番組「聖書と福音」(15分)も是非どうぞ。YouTube もあります。

動画筆記 : Rumi

